大阪鉄道病院・取り組みのご紹介
「医療安全」への取り組み

当院では、医療事故を防止し患者さんが安心して医療を受けていただける体制を目指し、組織を横断した医療安全対策に取り組んでいます。今年度より、医療安全管理室専従の医療安全管理者として副看護部長・田村恵子から看護部副師長の岡本明子がバトンを引き継ぎました。その取り組みと思いをご紹介いたします。

すべての判断基準は「患者さんの立場」にあります。

医療安全管理者(専従)　岡本 明子

医療安全管理者の業務の柱は、各部署分野にわたるインシデント（事故やミスにつながるおそれのある出来事等）を俯瞰し、アクシデント（医療事故や医療過誤）に発展する前に的確な対策を講じることです。基本業務としては、各部署から電子カルテで上がってくる（月200件前後の）インシデント報告をチェックし、必要に応じて情報を収集したり、検討委員会を開催したり、院内の安全に関する講習会を企画・運営したりと、ケースに応じた対応を実施しています。

もっとも、職種によって問題とするところは異なります。医療安全の立場から客観的な視点をブレずに貫き、根拠をもって「患者さんに安全な医療を提供する」という目的のために動くことが大切です。その意味で、患者さんに最も近い看護師という立場からこの業務に携われるのは、大きなメリットだと思います。

安全な医療の提供は、医療の基本となるものであり、職員ひとりひとりが、医療安全の必要性・重要性を自分自身の課題と認識して、安全な医療の遂行を徹底することが必要です。

「人は誤りを犯す」を前提に「誤り」に対する個人の責任の追及よりも、「誤り」の原因を究明した、その防止対策を立てていくことが重要です。まだまだ経験不足の私ですが、田村副看護部長に教わりながら、個人レベルの対策とともに、病院全体の組織的な対策を推進することで事故を防止し、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境を整備していきたいと思っています。

インシデント検討会
月2回、30分と決めて全職種が集合し、情報共有に努めています。

岡本の積極性に期待しています。

副看護部長　田村 恵子

医療安全管理者はあらゆる職種を横断するため人間関係を上手に築けることが理想。岡本は、おびただしい情報があがってくるなかでそれぞれの現場の状況を把握し、たとえ相手が上の立場の人間であっても言うべきことは果敢にアタックしているので非常に頼もしいです。最近では、ふたりで各部署に出向いてルールが守られているかチェックする「医療安全ラウンド」も始めました。私自身、専従者ははずれましたが、これからも岡本とともに医療安全への意識向上を目指して取り組んでまいります。

1階受付で医療安全のご相談を承ります。
患者さんご本人やご家族の方で何かお気付きのことがございましたら、お気軽にお声がけください。

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

【基本方針】
安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company
〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 1 丁目 2-22
TEL.06-6628-2221（代表）FAX.06-6628-2287（代表）
地域医療連携室 FAX.06-6628-4707
ホームページ http://www.jrosakahosp.jp

受付時間／午前8時30分～午前11時00分　診療開始／午前9時00分～
休診日／土日祝・年末年始（12月30日～1月3日）

202010

メディカル ぽっぽ vol. 3
よりよい医療の始発駅
2020.10

診療科 UPDATE
外科　部長 玉井 秀政
乳腺外科　医長 小林 澄
Radiation Station
リハビリコラム
おくすり基礎知識
メディカルコラム／秋の花粉症
登録医紹介
サポートに感謝！
「医療安全」への取り組み

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

外　科

今回は消化器・一般外科と乳腺外科から、
最新情報をお届けします。

「過不足のない外科治療」を合言葉に的確な医療の提供を目指す。

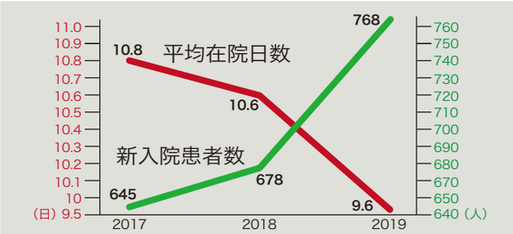
部長　玉井 秀政

専門分野／消化器・一般外科
資格／日本外科学会専門医、検診マンモグラフィー読影認定医、近畿外科学会評議員、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医。
・前回の当コーナーで熊谷医師がご紹介した遺伝性腫瘍への取り組みも一緒に行っています。

適応が増える腹腔鏡下手術

当院外科は、胃などの消化器がん、胆嚢結石症、鼠径ヘルニアなどを主な対象疾患とする消化器・一般外科と、乳腺の疾患に特化した乳腺外科で構成されています。

ことに手術においては、患者さんの QOL（生活の質）を考慮した低侵襲の腹腔鏡下手術を積極的に行っています。高い技術が求められる手術ですが、技術や器具の進化によって適応症例は徐々に増加してきました。当院では内視鏡外科学会技術認定を取得している畠山知也医長をはじめ、全医師が豊富な経験のもとで技術を磨き、安全性に十分配慮しつつ、周術期の患者さんの負担軽減とがんをはじめとする疾患治療の根治性を両立しています。



腹腔鏡化手術の普及による手術の低侵襲化により、より早期の退院が可能になっています。

さらに進化した ICG 蛍光内視鏡

腹腔鏡下手術を現在のような著しい発展に導いた大きな要因のひとつが、映像関連技術をはじめとした各種デバイスの進化といえます。まさに日進月歩の勢いで、より安全確実に手術が施行できるものが開発されています。当院においても、それらの新しいデバイスをいち早く採用し、よりよい手術治療を提供することができるよう尽力しています。

なかでも蛍光物質であるインドシアニングリーン(ICG)を静脈注射し、この反射光(蛍光)を専用のカメラがとらえることで血流などの生体内情報を画像化する ICG 蛍光内視鏡は、導入以来多大なメリットを享受していましたが、これがバージョンアップし、さらに高い精度での観察が可能となりました。具体的には、術前マーキングによる適切な切除マージンの確保や、吻合部腸管の血流評価、さらにリンパ節郭清の際にはリンパ流を観察しながら、それをガイドに郭清を行っています。また、実質臓器においては、肝切除の際の臓器血流評価、胆道走行の把握にも使用しています。

これらはより丁寧で安全確実な手術を行う上で有用であることはもちろん、一人の術者の判断にゆだねることなく視覚情報が共有できることから、術者の負担軽減にもつながっています。

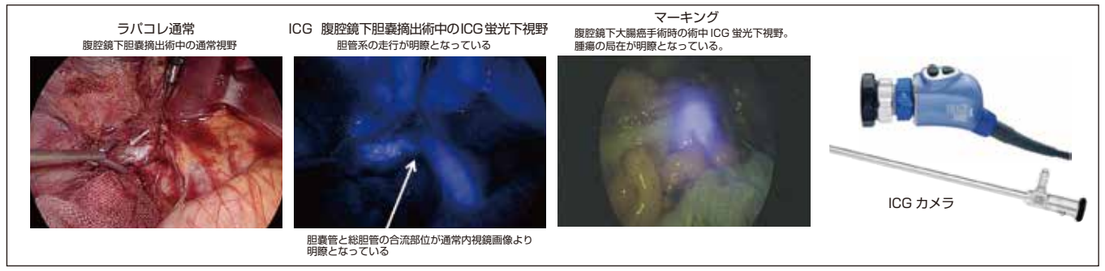
良好な関係性を基盤に

外科は医師同士、また医療チームとしてスタッフや他科との連携なしでは成り立たないジャンルです。常に風通しよく、コミュニケーションを良好にしておくことが重要ですが、その意味で現在の当院は非常に理想的な環境といえます。特に科内のメンバーはみな明るくフランクで、なんでも相談しあえる貴重な関係性が築けています。

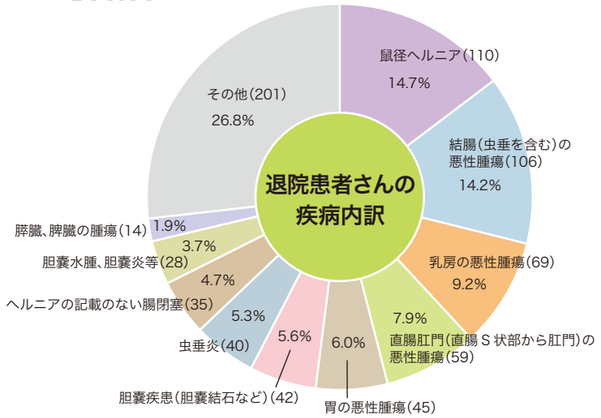
また、それぞれに得意分野をもっていますが、どの分野においてもガイドラインに準じた手術治療を基本に、「過不足のない外科治療」を提供する態勢を確立しています。そのためには、患者さんと誠実に向き合い、納得いただいた上で最善の治療を行うことが原則です。

手術というとそれだけで不安を抱えてしまいがちですが、患者さんやご家族に丁寧にご説明し、疑問点にもきめ細やかに対応することで、少しでも安心して治療を受けていただけるよう努めています。

もちろん、かかりつけ医の先生との連携もさらに強めていきたいと願っています。たとえば夕方や夜間の患者さんの経過観察に悩まれるときなども、ご連絡いただけましたらできる限りバックアップさせていただきます。患者さんの情報をしっかり共有しながら、大阪鉄道病院として信頼にお応えする最適の外科治療の提供に力を尽くしていきたいと考えています。



<DATA>[2019 年度]



【主要手術実績(件数)】

手術内容	件数
鼠径ヘルニア手術	71
腹腔鏡下胆嚢摘出術	60
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	42
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	40
乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	24
乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(胸筋切除を併施しない)	18
乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除)(腋窩部郭清を伴う)	16
腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)	12
腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲腫瘍を伴うもの)	9
腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲腫瘍を伴わないもの)	9
腹腔鏡下結腸切除術(小範囲切除、結腸半側切除)	8
結腸切除術　全切除、亜全切除または悪性腫瘍手術	5
抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	4

STAFF

赤見 敏和　診療部長・部長
専門分野／消化器・一般外科、乳腺
資格／日本消化器外科学会専門医・指導医、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、京都府立医科大学客員教授、京都府立医科大学臨床教授、近畿外科学会評議員。

荻野 史朗　副部長
専門分野／消化器・一般外科、下肢動脈瘤、乳腺
資格／IDC(infection control doctor)

小見山 聡介　医長
専門分野／消化器・一般外科、腹腔鏡下手術
資格／日本外科学会専門医、近畿外科学会評議員。

坂井 利規　医長
専門分野／消化器・一般外科
資格／日本外科学会専門医、日本透析医学会透析専門医、検診マンモグラフィー読影認定医

畠山 知也　医長
専門分野／消化器全般、肝・胆・膵、腹腔鏡下手術
資格／日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科　大腸)

上田 祐二　院長
専門分野／消化器・一般外科
資格／日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医、日本外科学会指導医・専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医・指導責任者、日本臨床外科学会評議員、近畿外科学会評議員、京都府立医科大学臨床教授(消化器外科学)、日本交通医学会理事、日本医師会認定産業医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、大阪府医師会勤務医部会常任委員、大阪市阿倍野区医師会理事、日本医療マネジメント学会大阪支部幹事

乳腺外科

本年度より、女性医師が常勤医に加わり、
さらにきめ細やかな対応が可能になった乳腺外科。
その意欲にあふれる声をお届けします。

患者さんお一人お一人との信頼関係のもと最適の治療を

医長 小林 澄

専門分野／乳腺
資格／乳がん検診マンモグラフィー読影認定医、乳がん検診超音波検査実施・判定医

天王寺はホームグラウンド

私は古くは天王寺にある小学校に通い、また研修医として2年間お世話になった経緯もあり、この春からはホームに戻った気分で楽しく勤めさせていただいています。

女性としてより深く患者さんにかかわりたいと外科のなかでも乳腺外科の専門医となり 5 年がたちました。もちろんすぐれた医師に男女の別はなく、当科の男性医師も患者さんからの厚い信頼を得る素晴らしい師や先輩ばかりです。それでも、なかには女性にしか話したくない悩みをお持ちの患者さんもいらっしゃると思いますので、私の存在が気負うことなく診療を受けていただくひとつのきっかけになることができれば嬉しく思います。

当院は立地がよいこともあり、患者さんの年齢層も幅広い印象です。生活習慣病など他の疾患をお持ちの患者さんも多いのですが、診療科を越えた医師や医療スタッフと連携が良好で、スムーズに総合的な治療が進められるのが魅力です。また放射線室には最新の機器が整っているので、検査から術後の放射線治療まで、集学的に取り組める点も、安心して治療を受けていただけるめやすになるかと思います。

患者さんの納得のいく治療を

年々罹患者の増加する乳がんですが、薬や治療法がアップデートされていくなかで、根治はもちろん、上手にがんと共存しながら長く生きていかれる方も増えています。医師としても、よりよい状態でより長く人生を謳歌していただくことを目標にしています。

ただ、症状や経過は人によってまったく異なります。また、治療を受ける患者さんのライフスタイルや環境、ご家族関係などによって、治療へのお考えもさまざまです。もちろんガイドラインに沿った治療を原則としていますが、頭ごなしの押しつけにならないよう、ご本人やご家族と時間をとってお話をし、最終的には患者さんが納得されて前向きに治療に取り組んでくださることを大切にしたいと考えています。乳がんは長期のフォローが必要な疾患だからこそ、医師として心から信頼していただけることが大切です。その意味で、かかりつけ医の先生方ともしっかり連携して患者さんに寄り添っていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

受診、ご紹介はお気軽に

近年では乳がんがメディアに取り上げられることも多く、「もしかしたら自分も」と不安を感じて検査にいらっしゃる方も増えています。しかし、乳房の線維腺腫や炎症など、良性の場合も少なくありません。万が一悪性であっても、早期発見早期治療が一番です。気になることがおありでしたら、ぜひ悩む前に受診してください。登録医の先生のご紹介にも、丁寧に対応してまいりますので、お気軽にお声がけいただけたら幸いです。

マンモグラフィー装置

RI 装置

MRI 装置

CT 装置

放射線治療装置

Radiation Station　放射線部門

大阪鉄道病院の
診療放射線技師のお仕事、ご存知ですか？
やっぱりマイナー？

今年入社した、診療放射線技師です。一般的に、看護師さんや薬剤師さんのお仕事の内容は想像しやすいと思うのですが、放射線技師となるとなかなかイメージしにくいのではないでしょうか。そこで今回は、大阪鉄道病院での診療放射線技師の仕事をご紹介します。

一般撮影（レントゲン）
放射線を使った身近な検査。骨折や肺炎、身体に入った異物などがわかります。骨密度を測定する検査も行っています。

マンモグラフィー検査
乳房のレントゲン撮影。乳房を強く圧迫することで、病気の有無がよりわかりやすくなります。

RI 検査
微弱な放射線を出す薬を身体に注射して、身体から出た放射線を受け取って画像にする検査です。

放射線治療
体の外から患部に高エネルギーの放射線をあてることにより、がんの治療を行います。

CT 検査
放射線を使った検査。身体の輪切りのような画像だけでなく、ボリュームデータから3D 画像を作成することができます。

MRI 検査
電磁波を使った検査。身体の輪切りのような画像が観察できます。脳や関節などを得意とする検査です。

ポータブル検査
病棟や手術室にて、レントゲン撮影を行います、撮影室への移動がなく、患者さんの負担を低減できます。

心臓カテーテル検査
血管から薬（造影剤）を流し、血管を観察する検査。心臓血管の形や詰まりを観察し、治療を行います。

アンギオグラフィ検査
これも造影剤で血管を観察する検査で、主に腹部の血管内治療に役立てます。CT も併設されているので、より正確な治療が行えます。

X 線 TV 検査
胃や大腸の透視検査から、泌尿器系、婦人科系等で画像をリアルタイムに観察しながら検査していきます。

手術室透視撮影
手術中に骨や固定具、カテーテルの位置を確認するために行います。

放射線科の業務はこのように多くの検査があります。これらの検査のための機器の保守点検も行なっています。最近私は当直業務も担当するようになったので、すべてを一人前にこなすべくがんばっています。ここにご紹介した検査や治療を受けられるときには、どこかに診療放射線技師がかかわっていると思い出していただけたら嬉しいです。ご質問などがございましたらお気軽にお声がけください。

リハビリコラム　リハビリテーション室

作業療法士
Occupational-Therapist【OT】
その人らしい生活や生きがいを支援するスペシャリスト。

今回は作業療法士について説明させていただきます。

「作業療法」とは、次の**３つの能力**を維持、改善し、
「その人らしい」生活の獲得を目的とするリハビリです。

基本的動作能力―運動や感覚・知覚、心肺や認知精神などの心身機能
応用的動作能力―食事やトイレ、家事などの日常で必要となる活動
社会的適応能力―地域活動への参加、就労、就学

脳卒中の方に対する訓練の一部をご紹介しましょう。

食事訓練
麻痺になると指先が動きにくくなるため、お箸の用い方をスポンジ等で練習します。

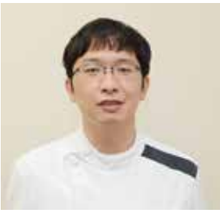
更衣訓練
衣服の着方を練習中。
麻痺になると、麻痺側から袖を通すのが基本などのコツがあります。

認知訓練
時計の見方を練習中。
時計を使って認知機能の評価中。

<次回は言語療法士を特集します。※当院では外来リハビリは受け付けていません>

おくすり基礎講座　薬剤部

当院薬剤部入局７年目の薬剤師、梅谷と申します。現在は外来がん治療認定薬剤師として抗がん剤業務に携わっています。当コーナーでは、薬についての基礎知識を解説してまいります。よろしくお願いいたします。



薬剤部 **梅谷 亮介**

予備知識編　薬剤師ってどんな仕事？

医療に使用されるくすりのことを、正しくは「医薬品」と呼びます。でも今後、このコーナーのなかでは医薬品を親しみやすく「くすり」と称していくことにします。

さて、くすりは「諸刃の剣」と言われます。正しく使えば有用ですが、誤った使い方をすれば、毒や害にもなるということです。くすりを安全かつ有効に使用するためには、正しい知識と技術を備えた専門家の存在が必要です。それが「薬剤師」なのです。

薬剤師の起源をたどれば 13 世紀ごろ。ローマ帝国のフリードリヒ2世が、毒殺されることを恐れて医師が処方したくすりを別の者にチェックさせたことが起源といわれています。1240 年には法律によって医師が薬局を持つことを禁じました。これが「医薬分業」のルーツです。

一方、日本での薬剤師の登場は明治時代。ドイツの医療制度を導入に伴い薬学教育の重要性が叫ばれ、1889(明治 22)年の「薬律」の制定によって、専門職として薬剤師の呼称が用いられるようになりました。

つまり薬剤師とは、医師とは異なった視点でくすりの専門的なアドバイスをする医療の担い手であるといえます。

「くすりあるところに薬剤師あり」幅広い薬剤師の仕事

次回から、おくすりについて一緒に学んでいきましょう。

メディカルコラム

「秋の花粉症」

耳鼻咽喉科

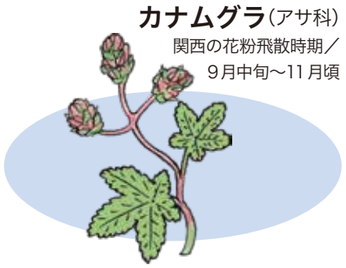
大変だった夏の暑さもようやくゆるみ、ほっとひと息ついたとたん、くしゃみが止まらなくなったり、目がかゆくなったりする人がいます。花粉症はスギやヒノキが有名ですが、実は秋特有の植物による花粉症に悩まされる人も少なくありません。

＜秋の花粉症の原因となる植物例＞

ブタクサ(キク科)
関西の花粉飛散時期／
8月中旬～10月頃

ヨモギ(キク科)
関西の花粉飛散時期／
8月中旬～11月頃

カナムグラ(アサ科)
関西の花粉飛散時期／
9月中旬～11月頃



これら草花の花粉は、スギやヒノキのような樹木の花粉とは違って遠くまで飛ぶことはないのですが、いずれも道端や空き地、また庭など、雑草として身近な場所に自生することが多いため、接触する可能性も高くなります。

症状は人により異なりますが、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの鼻炎、目のかゆみや涙目など。ブタクサの場合は気管支に花粉が入って喘息のような症状が出ることもあります。また、秋は花粉症以外にも、夏に繁殖したダニの死骸に反応してアレルギー症状が出ることもあるので、こちらも注意が必要です。

強く症状が出る場合は、まず原因をつきとめることで、効果的な対策がとれるようになります。当院耳鼻咽喉科では血液検査で原因を突き止め、症状に応じた対策をご提案させていただきます。気になる方は、ぜひご相談ください。

登録医紹介

整形外科 はぶクリニック

標 榜 科：整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
住　　所：〒546-0044　大阪市東住吉区北田辺 4-16-1
電話番号：06-6772-2996
アクセス：近鉄南大阪線 北田辺駅 高架下 徒歩 1 分
HP アドレス：https://www.habu-clinic.com

待合室

院長　鱧永 浩先生

外　観

── 御院についてお聞かせください。

「患者さんに痛みがなく、運動ができ、楽しい毎日を送れること」を診療理念としています。スタッフ間のチームワークがよく、日々努力を続けながら協力して診療にあたっています。

── 日々の診療のなかで心がけていらっしゃることはありますか。

痛みやしびれ他の不具合について、原因の根本が何かを第一に考えます。また、すでに、多くの薬を内服されている患者さんもいらっしゃいますので、処方する内服薬が多くならないようにすることを心がけています。もちろん院内感染の防止に努めることも重視しています。

── 医師に必要なものは何だと思われますか。

毎日の診療の始まりから終わりまで、きっちりと診療を続けることのできる、体力、持久力と健康でいられること。そして何が起きても動じない精神力でしょうか。

── 大阪鉄道病院の印象をお聞かせください。

大きな病院であるのに、患者さんの診療に困ったとき、細やかな対応をしていただき、どの科にご紹介してもよく診ていただき感謝しています。『メディカルぽっぽ』は、各科の特徴がよくわかり、また先生方のお顔写真も載っていて、親近感がわきますね。

＋α
名前は「はぶ」ですが、
豊中生まれの大阪人です。
座右の銘は「自燈明、法燈明」、
写真撮影や音楽ライブ鑑賞が
趣味です。

サポートに感謝！　当院の活動を支える委託スタッフをご紹介

約 50 年の歴史をもつ医療業務のリーディングカンパニー

【株式会社 ニチイ学館】

業務内容
医療機関に特化した人材を育成・派遣。現在は医療事務や患者さんサービスなどを専門的に身につけたスタッフ約 40 名が、さまざまな部署で大阪鉄道病院の活動をサポートしてくださっています。

内科ブロック・外科ブロック受付担当
松原 美奈子さん

患者さんの安心安全をお守りするため、除菌作業のお手伝いも。

私たちニチイ学館のスタッフは、全員がメディカルクラークの資格を所持し、医療事務のプロとして主に計算業務と受付業務を担当させていただいています。

ニチイ学館では、接遇はもちろん個人情報の保護や健康保険の知識、レセプト業務などが常に正しく行えるよう、定期的な研修によってスキルを磨いています。基礎的な能力はもちろん、病院に勤務する意味と役割を常に自覚しながら、日々の業務に励むことを大切にしています。

私自身はシフト制で内科ブロックと外科ブロックそれぞれの受付業務を担当し、患者さんの受付、問診票ご記入のお願いや検査室への案内などを行っています。やはり患者さんは心配や不安を抱えていらっしゃることがほとんどなので、そのお気持ちに寄り添い、お声がけさせていただくことに配慮しています。また、患者さんと医師の先生方、看護師さんの中間という立場にいますので、必要な情報を常に共有・把握し、診療がスムーズにできるようなサポートを心がけています。

大阪鉄道病院に勤務して４年がたちましたが、医師の先生、看護師、医療スタッフ、みなさんとても優しく、患者さん第一に動いていらっしゃるという印象は当初より変わりません。また私たち派遣スタッフにも心を配ってくださるので、とても働きやすい職場です。患者さんも、病院に信頼を寄せていらっしゃることが伝わってきます。私たち自身も、その信頼にお応えできる一人でいられるよう、これからも心をこめて業務に励んでいきたいと思います。